

- 医局説明会ご参加希望の皆様

当医局の特徴になりますので、事前資料としてご覧ください。

以下、当施設、当専攻医プログラムの特徴を抜粋いたします。

1. 基幹病院は3次救急、close型ICUで主治医として初療から退院までマネージメントを行う。(重症患者が多く、症例数・手技数が豊富で半年で救急科専門医症例が集まる)
2. 0歳から100歳まで、こどもも母体も、症例背景で選り好みしない救急・集中治療！
(東京都こども救命センター(年間約150件)、母体救命センター(年間約30件)に指定、都内で両方行っているのは当基幹病院のみ)
3. 基幹病院における3次救急・集中治療のみならず、他大学病院救命センター2施設、ER型二次救急病院数施設、こども病院1施設が連携病院であり、これらを専攻医ニーズに合わせてローテートする方式。
4. 臨床研究を行う大学院(学位取得)と専攻医プログラムを並行して行うことが可能。
(参考: 日本大学医学部 HP <https://www.med.nihon-u.ac.jp/postgraduate/>)
4. 土日当直の代休あり、当直入り明け制度あり。有給休暇は病院の要件に従う。フレキシブル勤務可能(要相談)。
5. サブスペシャリティ領域の各専門医・指導医取得が可能。

①救命救急センターで働きたい先生を若干名、募集いたします。

応募資格：特になし（条件により助手採用や専修医採用）

募集期間：随時

試験内容：書類審査、面接（受験者に個別にご連絡いたします）

待遇：日本大学附属板橋病院や関連施設の要件による

②基幹病院を日本大学医学部附属板橋病院とする当病院群による専攻医プログラムで救急科専攻医を募集いたします。

応募資格：令和6年3月末日において、2年間の初期研修を修了している者、あるいは
修了予定の者

募集期間：専攻医登録システムに則る（参考：今年度開始の一次登録期間は2022年12
月1日～14日、二次登録期間は2023年1月10日～18日）

試験内容：書類審査、面接（受験者に個別にご連絡いたします）

待遇：日本大学附属板橋病院や関連施設の要件による

募集要項：日本大学救急科専門研修プログラム <http://qqka-senmoni.com/2025> からダウンロードできます。

③短期研修（3か月、6か月、1年、2年など）も受け入れております。

HP内、短期研修の方のメッセージも参考にしてください。

<https://nihon-eccm.com/recruit/>

→少し下方の『メッセージ』→『研修生からのメッセージ』

救急集中治療を行っている救命救急センターの勤務、専攻医プログラムを希望する方はもとより、少し興味がある、だけでも構いませんので、内容について質問や相談があれば、気兼ねなく以下のメールアドレスにメールください。個別に対応させていただきます。

専門医指導医取得の特徴として救急科専門医・指導医取得と並行して社会医学系専門医を取得可能なのは他にはない特徴です。

詳細は社会医学系専門医の概要ページを参照ください。<http://shakai-senmon-i.umin.jp/about/>

未来行政において、救急医としての視野を活かした救急医療体制の確立などのキャリアアップが描ける可能性があります。

ご不明点やご質問は以下にご連絡いただければ幸いです。

医局長 桑名 司 kuwana.tsukasa@nihon-u.ac.jp